

ひと花 11年記念シンポジウム

孤独列島

寄せて寄せられ、ひと花ざかぞ！



西成区単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業の
11年をぎゅっぎゅっと濃縮！！

2024.9.27.

金

18:00-20:30ごろ

開場17:30

参加無料

場所

サービスハブ西成 大阪市西成区太子1-13-15

ワークショップ

孤独・孤立をつながりに変化させるヒントが見つかるかも！？会場にてご参加ください。

トークセッション

孤独・孤立対策や生活困窮者支援に詳しい有識者によるトークがもりもり！

オンライン

Zoomウェビナーで配信をします。事前申込みはこちら



※前日までにメールにてURLをお知らせいたします。

開催の主旨

ひとりの集まるまちでひと花さかせた11年！

ひとり暮らしの高齢者がたくさん住んでいるまち大阪市西成区で2013年に始まり、社会参加の機会作り・日常の生活支援・西成区のイメージアップに取り組んできた「単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業（ひと花プロジェクト）」は11年の成果をえて、今年4月に高齢以外の方の就労支援を行っているサービスハブ西成に発展・統合されました。地域のこどもたちも含めてオール世代がお互いのよいところを大事にしながら活躍できるプロジェクトに変化しつつあるいまをお伝えしたく、このシンポジウムを企画いたしました！孤独・孤立対策に関心のあるみなさまのご参加をぜひお待ちしております。

孤独・孤立に取り組む最先端の見識が聞けます

司会



白波瀬達也

関西学院大学人間福祉学部教授。不利が集中する都市・地域の課題をフィールドワークの手法に基づき研究している。単に実態を把握するだけでなく、課題解決のための政策やソーシャルアクションについても研究している。

トーカー



大西連

2010年より新宿での路上生活者支援活動に取り組み、自立生活サポートセンタもやいの活動に参加、2014年より理事長。現在内閣府孤独・孤立対策推進室孤独・孤立対策推進参与を務めている。



嵯峨嘉子

大阪公立大学大学院現代システム科学研究科准教授。貧困状態にある人々に対して最低生活を保障するための政策的課題を検討している。貧困状態にある人々の生活困窮のサインをどのように把握しどう政策的に対応するのかその支援の在り方に関心を持って研究を進めている。

ワークショップ



上田假奈代

3歳より詩作、17歳から朗読をはじめ。2003年大阪・新世界で喫茶店のふりをしたアートNPO「ココルーム」を立ち上げ、2012年「釜ヶ崎芸術大学」開講。2016年ゲストハウスのふりもはじめ、あの手この手で地域との協働をはかる。

スケジュール

17:30 開場

第一部

18:00 ひと花ショー

18:30 ワークショップ

「わたしが孤独だったとき」

第二部

19:00 ごあいさつ

19:10 ひと花11年ふりかえり

19:25 大西連さんのトーク

19:45 嵯峨嘉子さんのトーク

20:05 トークセッション

20:30 閉会のごあいさつ

途中参加
大歓迎です！



主催 認定NPO法人釜ヶ崎支援機構

協力 釜ヶ崎のまち再生フォーラム

問い合わせ先

サービスハブ西成

06-6556-7231

dont-staff@npokama.org